

## 令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	18. インクルーシブ教育システム推進事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
臨時	単独	計画	0	0	2,136	第4章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育） 基本施策2 教育環境 施策1 良好な学習環境を整備します	6,522	0	2,174	2,174	2,174	0
							令和3年度	0	2,174	2,174	0	
							令和4年度	2,174	2,174	2,174	0	
							令和5年度	2,174	2,174	2,174	0	
							令和6年度	2,174	2,174	2,174	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		2,164

財源内訳										一般財源
本年度当初要求額										0
本年度当初査定額										2,164

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・ことば等の発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。</p> <p>・地域資源の組み合わせ(スクールクラスター)を活用し、発達に課題のある幼児児童生徒への支援について関係機関が連携し、継続的に支援をすることのできる体制づくりを行います。</p>	<p>(事業の目的) ・ことば等の発達に課題のある児童の教育的ニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援が受けられるようにします。</p> <p>・障害の有無にかかわらず、発達に課題のある幼児児童生徒について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。</p>	<p>(事業の効果) ・ことば等の発達に課題のある児童への教育的効果を高めることができます。</p> <p>・発達に課題のある幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・関係機関が連携し、障害のある子供への適切な合理的配慮を提供するためには、校内体制の整備をし、教職員の十分な理解が必要です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・ことば等の発達に課題のある児童が増加していることや、ことばの指導をしている教諭支援のため学校からのタイムリーアドバイスの依頼が多くあり、勤務日数を増加しました。また、7時間45分勤務でありましたが、学校への支援や検査等にかかる時間を精査し7時間としました。</p>	<p>(見積についての特記事項) ・専門性の高い講師を招聘し、ことば等の発達に課題のある児童生徒への合理的配慮や関係機関との連携に関する教職員の専門性の向上を図ります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	2,031	2,031	0
08	126	115	11
10	7	7	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
							差引一般財源	0	2,164	0	2,164